

仕事始め その2

◆ eポートフォリオ（イーポートフォリオ）とは

【読み】イーポートフォリオ 【表記】eポートフォリオ、e-Portfolio

【分類】一般常識／インターネット／技術／ソフトウェア

【ひとことと言うと】

学生が探究活動や課外活動、資格・検定等の実績をインターネット上に蓄積する「学びのデータ」。学生が蓄積したものを先生が閲覧して指導に役立てたり、学生自身が Web 出願等に利用できる。

【解説】

eポートフォリオは、学生の「学び」の記録を電子化し、教員と共有することで進学や就職に活用するもの。

学生は、学校での授業や活動などでの学びや、テスト結果、自身で取得した資格・検定、学校以外の活動成果を記録。活動成果や学びを積み上げていくことでeポートフォリオとして情報が蓄積され、将来的にはこのデータを入試に利用できるよう準備が進められている。どんな種類の学びに取り組んでいたかを振り返り、今後どのような学び・成果につなげていくか、参考にしながら将来の目標設定に役立てることができる。

先生は、学生の情報を閲覧し、学生ひとりひとりの学びをサポートすることができる。面談前や年度末に、学生とともに内容を確認して振り返ることで、継続的な「主体的な学び」に向けて、指導に役立てるものとしている。

今後、大学出願ポータルサイトとして使用される予定。高校生が学校内外の活動を eポートフォリオとして記録し、高校生が入力した記録を高等学校の先生が確認したのち、令和3年度入試より、調査書提出の内容が変更され、入学者選抜における評価、参考データ、統計データ等の目的で利用される予定。各大学の利用方法は、募集要項等に明記される。

ということをご存知でしょうか。特に、「令和3年度入試より、調査書提出の内容が変更され、入学者選抜における評価、参考データ、統計データ等の目的で利用される予定。」であることが重要です。

文部科学省は、広大連携改革の目玉であった大学共通テストの2項目にとん挫しました。民間試験活用による英語4技能試験導入と国語・数学における記述式テストの導入です。

このことから、残る大学入試における eポートフォリオによる調査書の活用等の改革には、必ず達成するという意気込みで行う予定であり、大学側も導入に前向きなので、導入されても大丈夫な対応が必要です。